

日南町議会議長 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

## 櫃田 洋一議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 多文化共生の取り組みについて</p> <p>①モンゴルとの交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人技能実習生事業の工程及び受け入れ態勢について伺う。</li> <li>・交流支援員の役割について伺う。</li> </ul> <p>②シアトルとの交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹校提携への取り組みについて伺う。</li> <li>・国際交流、国際交流団体への支援の具体的な取り組みについて伺う。</li> </ul>	<p>1.</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人技能実習生事業の工程は、企業が実習生を受け入れた後、その企業に対して当該事業に係る経費の一部を支援するもの。受入態勢は、特定の監理団体を窓口としており、町はその団体と連携を図っている。</li> <li>・モンゴル人とのしっかりとした意思疎通を図ること、技能実習生や特定技能等の情報収集や交流につながる活動を担っていただく予定。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹校提携については、これまでも交流校へ提案をしてきた経緯はあるが、現地の学校の担当教員の転勤や学校管理リスク等の関係で提携はできていない。引き続き、提案は行っていきたい。</li> <li>・国際交流への取り組みについては、今後、現地の中学校と ICT 機器を活用した交流、京大留学生との交流の充実等に向けた協議を更に進め充実を図っていきたい。また、国際交流を進める上で、協力していただける支援団体のネットワークづくりなども検討していきたい。</li> </ul>

日南町議会議長 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 中村町政1年目の取り組み成果について</p> <p>①昨年の施政方針で「3年後検診受診率80%を目指す」と発表された。1年目の2019年度目標60%に対して実績数値はどうなったのか。</p> <p>②「ふるさと納税寄附金1億円」に対し、2019年度の目標金額と実績金額はいくらか。</p> <p>③「結婚件数50件」についても、2019年度の目標件数と実績件数はどうなったのか。</p>	<p>1.</p> <p>①令和2年1月末実績で、がん検診は胃がん32.6%、肺がん32.5%、大腸がん37.3%、子宮がん41.7%、乳がん70.7%であり、初年度での目標(60%)達成は乳がん検診のみとなっている。</p> <p>②2019年度(令和元年度)の目標金額は10,000千円とし、対して令和2年3月9日現在の寄附実績額は6,932千円となっている。</p> <p>ポータルサイトの増設や新返礼品の開発等について取り組んだが目標額には達しておらず、検証を行い今後の目標に向かって推進する。</p> <p>③2月末時点で9組の目標に対して、町内在住者の結婚数は5組の実績となっている。</p>
<p>2. J-クレジット制度について</p> <p>①林業振興や環境保全、生態系の維持目的にCO2の吸収量を企業等に販売をしているが、今後の見通しはどうか。</p> <p>②「道の駅CO2オフセット」の寄附を止めてはどうか。3年で458t寄附している。</p>	<p>2.</p> <p>①引き続き、貴重な財産として活用し、販売を継続する。</p> <p>②全国初のCO2排出ゼロの道の駅のコンセプトを引き続き継続する。</p>
<p>3. セントラルファーム農場の環境問題について</p> <p>①浄化設備の更新についての進展はあるのか。</p> <p>②今年に入ってから設備の不具合が発生しているが、現状はどうか。</p>	<p>3.</p> <p>①浄化槽の更新については、畜舎の移転に関わらず協議を継続している。</p> <p>②井戸ポンプについては、2月末に修繕は完了している。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

## 近藤 仁志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. ふるさと納税寄附金について</p> <p>①31年度所信表明で、具体的な数字をあげて取り組む必要性を強調され、ふるさと納税寄附金1億円を掲げられた。大きな目標に対し、達成に向けた新たな取り組みはあったか伺う。</p> <p>2. たたら文化の掘り起こしと下谷中たたら保存について</p> <p>①エコツーリズム推進協議会によって守られるべき動植物の調査が始まっているが、掘り起こすべき材料として、たたら文化があるのではと考える。民間の活動も見られるが、日南町の産業の歴史から見て町民の関心も高く、町としての取り組みを拡げる考えを伺う。</p> <p>②下谷中たたら跡は、石組みが綺麗に残っているのと併せて、内藤岩男先生の写生画もあり、往年の操業状況を思い起こすことができる貴重な遺構と考える。日南町の史跡かつ観光的作用として活用する考えを伺う。</p> <p>3. 病院改革について</p> <p>①病院改革に向けた取り組みとして、コンサルタント会社によるコンサルを受ける事が決定した。コンサルに向けて求めたい内容について提示されたと思うが、その内容を伺う。</p> <p>②日南病院は建設以来47年を迎える。第6次総合計画最終年には57年となる、地域包括ケアと病院存続の必要性を公言された今、建て替えなどの検討に着手する考えを伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①令和元年度は、寄附額の増加を目指し企画課内に新たに職員を1名配置しポータルサイトを増設、寄附申し込みの受入体制強化に努めた。加えて、新たな返礼品の開発にも取り組み、町外・県外で勢力的にPR活動も行った。</p> <p>2.</p> <p>①たたら文化は、町民にとって誇りであり、町としても守りつなげる必要性は高いものと認識している。また、たたら跡も貴重な文化財であり、保護と周知に努めていきたいと考える。活用についても専門家の意見をいただきながら、たたら顕彰会等民間の活動と歩調を合わせた推進を今後も行っていく。</p> <p>②史跡として十分な価値があると考えている。下谷中に関する古文書の調査研究を並行して行うことで、更に価値も上がると考えており、自ずと観光資源としての価値も上がる。本町の産業遺産としてPRを図り、観光資源として活用していける可能性はあると考える。</p> <p>3.</p> <p>①コンサルに求めたい内容は、病床機能転換、診療報酬改定等の調査、医業収支の改善策など概ね5項目としている。</p> <p>②療養病棟転換後の状況を見たとうえで検討したい。</p>

<p>4. 人口減少問題について</p> <p>①全国の殆どの自治体が人口減少問題を取り上げる中、本町も喫緊の課題で、町民皆が憂慮している。生産年齢人口の増加、新卒者の町外流出抑制に向けた最初の一步の取り組みは何か伺う。</p>	<p>4.</p> <p>①生産年齢人口の増加においては、魅力ある仕事と住まいの確立。新卒者の町外流出抑制においては、ふるさと教育の推進であると考え。そのためには、町や地域の課題に対してやらなければならないことは何なのか、これからどうするのかを話し合い、方向性や目標を定めていくことが第一歩と考える。</p>
--	--

日南町議会議長 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

岩崎 昭男議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. タウンズネット光化による効果と今後の活用について</p> <p>①第1期工事により光化が完成した地域住民からどのような声があるか。</p> <p>②中海テレビ放送サービス（テレビ再送信、多チャンネルサービス、インターネットサービス、ケーブルテレビ電話）の加入状況とその推移について伺う。（過去5年間の状況）</p> <p>③整備した情報基盤は活用することによりその目的を達成すると考えるが、新たな具体的活用策について伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①インターネット加入者から、処理速度が速くなったと好評を得ている。</p> <p>②テレビ再送信（タウンズネット加入）は1,404件（H26年度）、1,426件（H27年度）、1,484件（H28年度）、1,512件（H29年度）、1,546件（H30年度）。多チャンネルサービスは1,249件（H26年度）、1,244件（H27年度）、1,217件（H28年度）、1,180件（H29年度）、1,165件（H30年度）。インターネットサービスは734件（H26年度）、765件（H27年度）、772件（H28年度）、780件（H29年度）、800件（H30年度）。ケーブルプラス電話は35件（H26年度）、66件（H27年度）、74件（H28年度）、101件（H29年度）、179件（H30年度）。</p> <p>③タウンズネット光化整備により、大容量通信が可能となり、活用の選択肢が大幅に広がる。国においては、デジタル活用共生社会の実現に向けた取り組みが進められている。本町における今後の取り組みは、「日南町情報化推進計画（仮称）」において示す予定であるが、具体的一例としては、教育、子育て、介護分野など社会基盤での活用及び農林業、テレワーク等経済活動での活用を進めるほか、デジタルデバイドの解消に向け、活用の支援ができる人材も育成し、取り組んでいきたい。</p>
<p>2. 「GIGAスクール構想」への取り組みについて</p> <p>①小中学校ではこれまでにネットワーク整備やiPad・電子黒板の導入をしてきたが、現在の児童生徒数に対し何台のiPadが導入されているのか伺う。</p>	<p>2.</p> <p>①現在、206名の児童生徒が在籍しており、小学校は91台、中学校は107台のタブレットを整備している。小学校では4年生から6年生まで、中学校では全学年の児童生徒に、1人1台のタブレットが割り当てられている。</p>

<p>②この整備状況と授業での活用状況について、どう評価しているか伺う。</p> <p>③「GIGAスクール構想」に取り組むにあたりiPad購入等を予算化してあるが、導入および使用開始時期について伺う。</p>	<p>②本町は、県内でもいち早くICT機器やネットワークの整備・充実に積極的に取り組み、環境面では全国的にもトップクラスの整備状況であるとする。また、授業での活用状況は、タブレットでインターネットの利用、写真や動画の撮影、漢字や地図等に関する教育用アプリによる学習を行う等、日常的にタブレットを活用しているが、まだまだ課題も多くあるのが現状である。</p> <p>③本町では、国の整備補助事業を利用しながら、令和2年度から令和4年度の3年間で、現在整備している端末の更新と、小学校1年生から3年生の児童分の端末の整備を進めていくよう計画している。また、使用開始時期については、令和4年度までには全ての児童生徒に1人1台の端末が整備され使用ができるようになる計画である。令和2年度については、調達方法を県と協議中で、全国の自治体が導入を行うこともあり、メーカーの対応等の調整も必要となり、時期については未定である。</p>
---	--

日南町議会議長 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

岡本 健三議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休校による影響について</p> <p>①子どもたちの家庭学習や自宅での過ごし方が課題だが、どのように指導しているか。</p> <p>②給食がないことで、子どもたちの健康や家庭の家計へどのような影響があり、それにどのように対処しているか。</p> <p>③日南町が学校給食の業務を委託する会社などに、どのような影響があるのか。</p> <p>2. 日南町学校給食費補助金について 来年度予算の新規事業として日南町学校給食費補助金を提案された英断に心からの感謝と敬意を表す。その上で、改めて学校給食についての見解を問う。</p> <p>①学校給食は「ふるさと教育」の格好の教材であり、格好の機会ではないか。「ふるさと教育」としての学校給食を町が補助するのであれば、幅広い世代から広い支持が得られないか。</p> <p>②日南町では現状で既婚者の出生率が高い傾向にある。今後さらに子育て世代が暮らしやすい環境を整えるためにも日南町学校給食費補助金の拡充が必要と考えるが、どうか。</p>	<p>1.</p> <p>①家庭学習用のプリントの配布や、ドリル・問題集等を行うように指導をしている。また、不要な外出や人が集まる場所等は避け、基本的には自宅で過ごすように指導している。また、ICT機器による家庭学習が行える準備も行っている。</p> <p>②家庭訪問等を実施し、子どもたちの状況把握や心のケアも行い、必要な対応が行えるようにしている。また、家計への影響は多少なりともあると考えるが、保護者のご理解とご協力をいただきたいと考える。</p> <p>③委託先からは、特に影響はなく、夏休みのような長期休業中の対応を行っていると考えている。</p> <p>2.</p> <p>①本町は、日南米を使用し、JA女性部と連携した安心・安全な食材提供を行うなど、ふるさと教育のねらいに則した食育と学校給食を実施している。令和2年度から給食費補助を計画しているので、幅広い世代からのご意見を参考に今後については協議していきたい。</p> <p>②令和2年度の新規事業として給食費補助を計画している。保護者の意見等を聞きながら、取り組みの評価を行っていきたい。</p>

<p>3. 国保税の子どもの均等割り減免について</p> <p>①保険者努力支援制度において、繰入金解消の取り組みを進めなければ支援金が減額されることが 2020 年度から導入される。繰入金を利用した 18 歳以下の子どもの均等割の減免は、この支援金減額の対象となるか。</p> <p>②現在の国の制度の枠組み中で多くの自治体が子どもの均等割の減免を実施している。日南町でも同様の取り組みが可能と考えるが、どうか。</p> <p>③国保の県一元化へ向け、まずは日南町が子どもの均等割を減免し、国保のあるべき姿を示してはどうか。</p>	<p>3.</p> <p>①赤字解消目的の繰入でないことから、減額対象にはならない。</p> <p>②国保税の公平な負担という観点からも慎重に検討すべきと考える。</p> <p>③国保の県一元化にともない、保険料水準の統一に向けた議論の中で、検討すべきと考える。</p>
---	---

日南町議会議員 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

久代 安敏議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 町長施政方針から日南病院について</p> <p>①町長施政方針で、質の高い安定的な医療環境を確保するために、鳥取大学医学部附属病院と協議して「日野郡医療連携協定(仮称)」を結ぶ予定とあるが、日南病院のめざす方向性をどのように構想しているのか。</p> <p>②12月定例会の一般質問で「日南病院のスタッフと町民との座談会を計画したい」との答弁があったが、具体的にどんな検討をしているのか。</p> <p>③世界的に拡大する新型コロナウイルスの感染防止のために、日南病院でもワクチンの予防接種ができる日が必ず来ると考える。町民が安心して受診できる身近な自治体病院の役割はますます重要となるので、しっかりとした対応を求める。</p> <p>④新年度予算に胃がんの内視鏡検診にピロリ菌除去が事業化されるなど、検診率を上げることが外来患者の増加につながると考える。また、恒常的な空きベット数についても個室化するなどの検討が必要だと考えるがどうか。</p>	<p>1.</p> <p>①一つには、医療に関して日野郡民の利便や安心感につなげ、二つ目には日南町での医療提供体制の継続確保につなげたい。</p> <p>②地域や自治会との調整を図り、また関係部署の協力も仰ぎながら進める。</p> <p>③既に感染予防対策を講じている。また、市中感染が蔓延してきた場合は感染外来患者及び感染入院患者も対応が可能な範囲で受入を行う。</p> <p>④胃がん検診の受診率向上に努め、必要に応じて内視鏡検査の枠を増やすことも検討する。また、個室化対策は今後の課題とする。</p>
<p>2. 加齢性難聴者の補聴器導入への補助制度を</p> <p>①日南町の高齢化率は50%を超え、加齢性難聴者は日常生活でコミュニケーションなどに困難をきたし、生活の質を落とす大きな原因となっている。会話による脳への情報減少をもたらし、脳の機能を低下させ、うつや認知症につながるなどの指摘もあり、高齢者が健康に過ごすうえで極めて重要とされている。補聴器導入に補助制度を創設されないか。</p>	<p>2.</p> <p>①現在、補聴器助成制度は身体障がい者手帳を所持している方が対象であるが、聴覚の感度低下はうつ病や不安神経症を含む心理社会的な疾患を発症する割合が高いことも指摘されている。町内の実態とニーズの把握や関係機関との意見交換の場を持ちたい。また、今後国や県の制度化への動きを注視し、要望もしていきたい。</p>

<p>3. 第6次 日南町総合計画について</p> <p>①第6次総合計画におけるSDGs達成に向けた取り組みの推進を決して計画倒れにしてはならない。そのためには、先ず安定した雇用の確保とだれでも8時間はたらけばふつうに暮らせる日南町の実現だと考えるがどうか。</p>	<p>3.</p> <p>①SDGs 達成に向けた取り組みの優先度は、当事者の年代等によって異なると思う。その上で仕事は生活に欠かせないものであるが、雇用の確保には、雇用主である企業とのミスマッチ解消、福利厚生充実、中高年齢者の就業促進、フルタイムに限らない多様な勤務体系、柔軟な働き方ができる雇用の場づくりが重要であると思う。</p>
--	--

日南町議会議長 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

古都 勝人議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 町長の施政方針について 3月3日に、令和2年度町長施政方針で説明のあった次の部分について伺う。</p> <p>①「当初予算には計上していませんが、教育部門における保小中一貫教育推進のための体制づくり」とあるが、その内容について伺う。</p> <p>②「若者が『スマート・魅力的・稼げる』と思える農業になるよう、…」とあるが、その内容について伺う。</p> <p>③「女性にとって『働きやすい職場』を作っていくことが求められており、…」とあるが、その内容について伺う。</p> <p>④「日南小学校統合を契機として『保小中一貫教育』を柱に進めてきました。…学校自体のあり方の変革を求められている」とあるが、内容について伺う。</p> <p>⑤「…『日南町義務教育のあり方』を検討する年にしたいと考えています。そして、保育園の</p>	<p>1.</p> <p>①小学校統合を契機に、保小中一貫教育を進めてきたが、様々な課題等も出てきている。その課題解決のため、1つは組織のあり方を検討し、今後、保育園を教育課の管轄にするなど保育と教育の連携を強化し、連続性のある保小中一貫教育の推進を考えている。</p> <p>②今後の農業を考えるうえで若者目線に立った3つのキーワードが必要。選ばれる作物づくりや地域内外の人・企業などとの連携、それらを結ぶことが出来る人材の育成によって農業の魅力を引き出す。</p> <p>③町内企業において、男女ともに各種休暇・休業制度の確立と取得しやすい環境等の整備が必要である。併せて、これら休暇等が取得しやすい職場風土づくりが大切である。そのほか、性差によるハラスメント（嫌がらせの言動）を解消していく職場内の環境づくりも重要。一方で託児体制など子育てしやすい環境の整備、高齢者の介護や在宅ケアサービスの充実などが「働きやすい職場」につながっていくものと考ええる。</p> <p>④現在、学校現場は働き方改革をはじめ、様々な問題や課題等を抱え、教職員だけでは全て解決できない状況にある。そこで、関係機関とも協力し、学校・家庭・地域が連携をし、課題解決や教育活動の推進を図ることが必要となる。そういう意味からも、コミュニティ・スクールを導入し、地域とともにある学校づくりが求められる。</p> <p>⑤小学校統合を契機に、保小中一貫教育を進めてきたが、様々な課題等も出てきている。今後、</p>

<p>位置づけについて、保育と教育の連続性の観点から、組織のあり方も視野に入れて検討していきたい」とあるが、その内容について伺う。</p>	<p>課題解決に向けた取り組みを進めつつ、将来的に義務教育学校への移行も検討していく必要がある。また、保育と教育の連携を強化していくためにも、保育園を教育課内に位置づけ、保育と教育の充実を図っていきたい。</p>
<p>2. 集落での農地、水路、畦畔などの管理について</p>	<p>2.</p>
<p>①農業者の減少、高齢化などにより、農地や周辺管理が充分でなく、周辺農家から苦情が発生していると聞かすが、法人、認定農業者を始め小規模農家を含めた研修や話し合いが必要ではないか。「ゆうきまんまん大会」のような大会の復活は考えられないか。</p>	<p>①地域のことは地域で話し合うことがスタートとなるが、まずは人・農地プランの座談会などの担い手農家の集まる話し合いの場で問題提起していきたい。また「ゆうきまんまん大会」、以前の「野菜生産者大会」のような研修等の機会について、関係者及び団体等と協議し必要に応じて検討していきたい。</p>
<p>3. 教育長の所信について</p>	<p>3.</p>
<p>昨年6月定例会において、教育長の所信について伺ったが、時間が少なく十分な議論が出来なかったので、約1年経過した今日の考えを伺う。</p>	
<p>①小学校現場や教育行政の経験を活かして、学校教育の再構築、生涯学び続ける町づくりを進めたいとの所信であったが、どのように取り組まれているのか伺う。</p>	<p>①学校教育の再構築として、子ども一人一人の可能性を引き出す取り組みや保育の質の向上と小中の教職員が連携して子どもに関わる体制づくりを進めることで、保小中一貫教育の質の向上をめざしていきたい。</p>
<p>②教育課全体の中で「青少年健全育成事業」のボリュームが少ないと思うが、各種計画では子どもに関する事項が多いが、どのように考えておられるのか伺う。</p>	<p>また、働き方改革を踏まえた町全体で子どもの教育を支えるコミュニティ・スクールの導入にも積極的に取り組んでいきたい。</p> <p>②青少年健全育成事業については、来年度「ふるさと教育」の中で充実させていきたいと考えている。また、働き方改革を踏まえた放課後の児童生徒の受皿づくりにも取り組んでいきたい。</p>